

「緑の秋にいただいた  
「緑の褒章」の褒状



手探りでボランティアを始めて40年。喜ぶ顔が見たくて活動を続けています



最近施設で話すことも増えました。話すこと、聴くこと、すべてが勉強になります

### 狭山の元気 発見



## 視覚障害者(児)の支援を続けて40年 私たちを必要としてくれる人がいる それが活動のエネルギー

「喜んでもらえるのが一番の励みになります」と話すのは、視覚に障害のある方や、一人暮らしの高齢者の生活の支援などを行っている「綾の会」の皆さんです。市内のボランティアグループの草分け的存在で、特に視覚障害者(児)への支援は、制度や体制が整っていないことから手探りで取り組んできました。会の発足は昭和52年。中央公民館で行われた、心豊かな生活を送るための講座の受講生のうち10名ほどが集まり、

「喜んでもらえるのが一番の励みになります」と話すのは、視覚に障害のある方や、一人暮らしの高齢者の生活の支援などを行っている「綾の会」の皆さんです。市内のボランティアグループの草分け的存在で、特に視覚障害者(児)への支援は、制度や体制が整っていないことから手探りで取り組んできました。会の発足は昭和52年。中央公民館で行われた、心豊かな生活を送るための講座の受講生のうち10名ほどが集まり、

「喜んでもらえるのが一番の励みになります」と話すのは、視覚に障害のある方や、一人暮らしの高齢者の生活の支援などを行っている「綾の会」の皆さんです。市内のボランティアグループの草分け的存在で、特に視覚障害者(児)への支援は、制度や体制が整っていないことから手探りで取り組んできました。会の発足は昭和52年。中央公民館で行われた、心豊かな生活を送るための講座の受講生のうち10名ほどが集まり、

「喜んでもらえるのが一番の励みになります」と話すのは、視覚に障害のある方や、一人暮らしの高齢者の生活の支援などを行っている「綾の会」の皆さんです。市内のボランティアグループの草分け的存在で、特に視覚障害者(児)への支援は、制度や体制が整っていないことから手探りで取り組んできました。会の発足は昭和52年。中央公民館で行われた、心豊かな生活を送るための講座の受講生のうち10名ほどが集まり、



ボランティアグループ 綾の会 会長 村田静子さん(祇園)



### ● サッカーを通じて賑わいを創出します

9月13日(水)、女子サッカーなでしこリーグ1部に参戦中の「ちふれASエルフェン埼玉」を運営するNPO法人エルフェンスポーツクラブと狭山市は、「ホームタウン・まちづくりパートナーシップ包括連携に関する協定」を締結しました。



この協定により、チームがさらに地域に密着し、まちづくりの各分野で市と連携していくことで、狭山市の賑わいを創出していくことを目的としています。協定に基づき、エルフェンでは、市民の皆さんに女子サッカーの魅力を伝えるとともに、子ども達には、一流のスポーツの技術に接していただく機会にしようと、堀兼・上坂公園グラウンドで、本番さながらのプレシーズンマッチを行うほか、各種講演会や教室なども開催する予定です。問合せスポーツ振興課へ内線5710

### ● 東京2020オリンピックゴルフ競技の運営に参加します

東京2020オリンピックの男子と女子のゴルフ競技が、市内に所在する霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されます。狭山市は、東京2020組織委員会より「開催会場」としての大会エンブレムの使用が承認されました。



これから市では、大会を盛り上げ、成功に導くために、競技会場周辺でのボランティア活動やおもてなし活動、狭山市の魅力発信などを市民の皆さんと協働して取り組んでいきます。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。問合せ政策企画課へ内線7133

### ● 「北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する抗議文」を送付

9月5日(火)、狭山市は朝鮮民主主義人民共和国の金正恩国防委員会委員長に対して抗議文を送付し、8月29日の日本上空を通過させた弾道ミサイル発射と9月3日の核実験に対する厳重な抗議、そして核兵器とミサイル開発の即時中止を強く要請しました。

狭山市は、平成元年12月に平和都市を宣言し、あらゆる国の核兵器が廃絶され、世界の恒久平和が確立されることを強く望んでいます。問合せ政策企画課へ内線7133

## ONE for All 市長が走る! ②

### 目指せ、学力日本一!

今年も8月下旬に、全国学力テストの結果が公表されました。中学3年生と小学6年生の学力や学習状況の結果を見ると、近年、改善傾向にあります。私が目標にしている「学力日本一」を実現するには、まだまだ多くの課題が山積しています。

将来、人工知能やIoTなどの技術革新は、私たちの生活に豊かさをもたらす一方、多くの雇用を変質させるはず。また、地球環境や国際情勢の変化は、全ての産業の

あり方を変えるかもしれません。さやまっ子が歩む未来には、間違いなく多くのハードルが待っています。それらを力強く乗り越えられる子ども達を育てていく必要があります。快適な教育環境の整備に向けた学校施設の改修、教職員の負担の軽減などに、市としても努力していきます。家庭では基本的な生活習慣や家庭学習の習慣などが身につくようお願いします。また、地域の皆さんには、引き続き、子ども達の健全な発達を見守ってほしいと思います。

教育の充実、子ども達の可能性を拓き、私たちの将来を豊かにしてくれると信じています。



市議会第3回定例会での議案の総括説明

### 市長の主な動き

- 9/1~29...市議会第3回定例会 ○9/2・9・10・13・15~18・23...各地区敬老会 ○9/13...ホームタウン・まちづくりパートナーシップ包括連携に関する協定締結式 ○9/16...市内中学校体育祭 ○9/22・26~29...登校交通安全指導 ○9/23...青い実学園運動会 ○9/24...市内小学校運動会 ○9/25...百歳訪問